

あしたりグループつうしん

グループホーム
あしたりの家

小規模多機能
ゆったりあしたり



令和4年5月号

福祉ネイル・



四月二十二日、福祉ネイルリストの実習生が実地研修の為に来訪しました。福祉ネイルとは、主に高齢者・病気や障害を抱えている方を対象に入所や通所型の介護福祉施設に訪問しネイルやケアを施術することとをいいます。

“自分の為にネイルをすること”で喜びや癒しを感じ、認知症ケアで注目されているユマニチュードとの親和性も高く、今注目されている分野でもあります。

利用者さんの生活のちょっとした彩りや癒しを提供することを目的に、あしたりの家が実習先として協力をしています。この日はあしたりの家十五名、ゆったりあしたり八名の方が受けました。

ネイルの素材はアルコールで簡単に取れるものを使用しています。

最初は「こんな皺だらけの手で恥ずかしいわあ。」「よう分からんし私はええわあ。」と消極的な姿がありました。が、会話をしながら爪や指先に触れられると徐々に心が和み、自身の爪が鮮やかに染まってくると自然と笑みこぼれていました。どの利用者さんも出来上がりに満足され、気持ち良かったな。」「爪が綺麗になって気分も上がるな。」と評判は上々でした。施術後も嬉しそうに何度も手元を見ていた姿がとても印象的でした。また、人と人とのコミュニケーションや触れ合いは人の心を癒す事を再認識しました。



ネイルの力で
癒し・元気・希望を♪



ハタキに戻った
気分じゃ♪



～男性利用者さんは～
ハンドマッサージや爪磨き

春爛漫 令和四年度お花見会の様子

冬の間鈍った体と頭が目覚めるような暖かい春の陽気が今年もやってきました。四月に入ると汗ばむ気候となり桜の開花が一気に進んだ四月九日、晴天の空の下で今年もお花見を上水田幼稚園跡にて開催しました。

花の香りを感じながら、まずは体操で腹ごなし。春にちなんだ歌を歌ってレクリエーションを楽しんだら、お待ちかねの食事です。花より団子の皆さんに喜んでもらえる様この日はうどん、タコ焼き、ふる吹き大根に酢の物と職員一同張り切って作りました。

お腹が満たされると、近くの川沿いの桜並木をのんびりと散策。散った花びらが水面に浮かび、ほらほらあそこ。散った桜も綺麗じゃな。」ほんまじゃ。」と身を乗り出して感動を共有される姿があましました。中には久々の外出に体が怠けてしまった。いけん。」と言われる方も。楽しい時間が過ぎせました。



今年も桜が見れて
良かったー！



とんど・節分

何かと忙しいお正月も終わり、時折降る雪にまだまだ春を遠く感じながら迎えた小正月とんど行事を施設の二手にて行いました。



「いつもは寒いから出たくない!」
 という方も、今日ばかりは寒風が吹く中でも軽い足取りで会場へ。正月飾りやレクリエーションで作った作品が、煙とともに天へ送られていく様子を眺めながら、温かいお茶と炭火で焼きたてのお餅を堪能しました。

また、厳しい寒さの続く二月三日には、「ご利用者様に福を招くための節分行事を開催しました。今年には鬼に加えて犬、猿、キジ(?)を引き連れた桃太郎も登場し、職員扮する二匹の鬼を成敗して一年の厄を祓うといっ



こいゃあ変なキジじゃなあ...



お誕生日紹介

え?誕生日?
 まあ、ありがとう。
 花が綺麗ね。

んま~なごう
 生きたなあ。

あら?そんなになった?
 気持ちは若いのよ♡

曾孫の成長が楽しみなんです。

武村満様 / 1月 / 92歳

沖田公香様 / 1月 / 86歳

高橋宮子様 / 2月 / 92歳

福嶋妙子様 / 2月 / 86歳

まだ92ですか。
 もう100(歳)くらいかと思ってました。

HAPPY BIRTHDAY

山田初江様 / 2月 / 84歳

介護の窓口「けあまご」

ユマニチュードとは?

フランス発祥の認知症ケア技術のこと。見る・話す・触れる・立つという4つの動作を基本とし、人間さしさと優しさに基づいたケアを表現する。ユマニチュードの実践によって関係性を良好に保ち、身体機能や能力の回復や維持だけでなく介護する側もされる側も感情が穏やかになりケア負担の軽減が図れるとされている。

令和4年度年間目標

明日香ユニット

◎ チームケアの実践

- ① 担当が窓口となりチームケアへ繋げよう
- ② 各自の役割・責任を把握し徹底した対応をしよう
- ③ 縦横の報告・連絡・相談の基本を忘れず、密度にこだわろう

英賀ユニット

◎ ご利用者個々に対応したケアが出来る様に職員間で連携を図り取り組む

ゆったりあしたり

◎ ケアプランを意識した関りの提供

- ① 利用者さんの気持ちを汲み取る
- ② ケアの見直しをする
- ③ 気づきを共有する
- ④ 個別ケアに活かす
- ⑤ 個人の現有能力を活かす



思い出タイムスリップ

若い頃は蟹川にあった蠟燭工場で働いていたAさん。決まった型に溶かしたロウを流し込む工程を担当し、夏は暑くて大変だったんじゃ。」と今でも暑さを覚えていると言われます。

「まだ子供も幼く、私が働きに出ようとすると一番下の子供が尻を追うて来てなあ...可哀そうじゃったけど仕事をせにやならんかった。」と、いまだに当時の思い出しては涙されることがあります。

中津井の縫製工場と同じ位に盛んだった産業で仕事に家事に育児に奮闘されていた当時の様子がとても伝わってくるお話でした。

◆編集後記◆

今年に入り、新型コロナウイルスの新規感染者数は高止まりの状態が続いております。こゝ真庭市でも、学校や医療機関でクラスターが発生するなど、どんどん身近になってきているように思います。大切なご利用者様の生命を守るため、そして以前の日常を取り戻すためにも、職員一同より気を引き締めて感染対策に臨んで参りたいと思います。

あしたりグループ広報委員
 大谷拓也 原祐子 八藤修
 真庭市五名80番地(株)コステム内
 TEL 0866(52)4677

